

# 電動ベッド仕様書

## 【構成内訳】

- ・低床ベッド 8台
- ・超低床 2台
- ・ベッドサイドレール 10組
- ・スイングアーム介助バー 5個
- ・ベッドサイドテーブル 5台

## 【主な仕様】

### 1 低床ベッド

- 1) 背上げ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るために、背上げ・背下げの操作に連動してベッドが傾斜する機構を有していること。
- 2) 背上げと膝上げ・膝下げ、傾斜動作の連動は、ギャッチ動作時における体のずれ、腹部圧迫の軽減を図るために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視（測定）し制御していること。
- 3) 背ボトムと膝ボトムの連結部は、ギャッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るために短冊状に構成された屈曲ボトム構造であること。
- 4) ボトムの高さが32cmの位置で一旦停止し、その際、警告音を鳴らし最低位置まで下降する安全機能を有していること。
- 5) 別売りのナースコール中継ユニットをナースコールに接続することで、離床通知、端座位通知、起床通知および見守り通知を可能とする機能を有していること、

### 2 超低床ベッド

- 1) 背上げと膝上げ・膝下げ、傾斜動作の連動は、ギャッチ動作時における体のずれ、腹部圧迫の軽減を図るために、背ボトムと膝ボトムの角度を常に監視（測定）し制御していること。
- 2) 背ボトムと膝ボトムの連結部は、ギャッチ動作時における体のずれ・腹部圧迫の軽減を図るために短冊状に構成された屈曲ボトム構造であること。
- 3) ボトムの高さが32cmの位置で一旦停止し、その際、警告音を鳴らし最低位置まで下降する安全機能を有していること。

### 3 ベッドサイドレール

- 1) ベッドのボードとの間にできるすき間が狭いコーナースペーサーを採用して

いること。また、フットボードがヘッドボードより低いベッドにも対応できるように縦方向を長く設計していること。

2) ふたつの差込部の形状を異なるようにし、適合するベッドに取り付けるときに、リスクの高いすき間ができないように誤った向きにならないようにしていること。

#### 4 スイングアーム介助バー

1) ベッドのオプション取付穴に差込み、固定ハンドルを回すことによりベッドにワンタッチで固定することができること。また、スイングアーム部は、使用状況に合わせ、水平方向の角度調節と固定を30度刻みで±120度までできること。

2) 誤操作や不意の解除を防止するため、ストッパーを押し上げていないと操作レバーを押せないような機構（ダブルロック構造）を有していること。また、ロックし忘れによる不意な転倒等を予防するため、操作レバーから手を離れた状態でスイングアーム部を回転させると、固定可能な角度で自動的に固定できること。

#### 5 ベッドサイドテーブル

1) ブレーキゴムによるロック機構を有し、テーブルの移動がロックされる構造となっていること。

2) ロック解除操作は甲板下部の支柱の左右両側に配したロック解除レバーにより行い、片側の操作で全輪のロック解除操作ができること。

3) ハイローベッドでの使用における安全性向上の為、甲板は上昇方向のみ、高さ調節レバーの操作なしでも作動すること。

4) レバーロック解除レバーから手を離れた状態でもテーブル移動ができるようにキャスターロック解除の保持機能を有していること。

社会医療法人社団  
大久保病院